

学 会 記 事

◎**定例常議員会**（昭.34.6.9）出席者：米田会長、篠原、本間両副会長、安藤、田中（清）の各常議員、小野、草間、平井の各名誉員、高野、中安、藤村、渡辺、関分、野田、比田の各理事。常議員数 51 名（出席者 7 名、委任状 29 名、計 36 名）。議事：1) 34 年度役員改選について

会 長	田 中 茂 美君
副 会 長	富 樫 凱 一君
理 事	星之内 由紀夫君
”	川 勝 四 郎君
”	川 村 満 雄君
”	田 中 行 雄君
”	八 十 島 義之助君

以上の通り決定、2) 33 年度事業報告（高野総務部長説明）を決定、3) 33 年度決算報告（藤村経理部長説明）を決定、4) 名誉員の推挙候補者について

元 会 長	鈴 木 雅 次君
”	吉 田 徳 次 郎君
”	平 田 復 二 郎君
元副会長	黒 田 武 定君
”	堀 越 清 六君
元関西支部長	高 西 敬 義君

以上の通り承認、5) 33年度土木賞授賞者を承認、6) 定款改正案の専務理事の名称を専務理事と変更することを承認。

◎第 45 回通常総会

日 時：昭和 34 年 6 月 13 日 午前 9.30 時

会 場：広島大学教育学部講堂において

出席者：238 名、委任状 746 名、計 984 名、有権会員 13 686 名（法定数 686 名）

議 事：1) 第 1 号議案 昭和 33 年度事業報告（関分理事説明）、2) 第 2 号議案 昭和 33 年度決算報告（藤村理事説明）、上記 2 議案を異議なく承認、3) 第 3 号議案 専務理事制設定に関する定款の一部改正 984 名中、賛成 980 名、反対 4 名で可決、4) 第 4 号議案 名誉員の推挙

元 会 長	鈴 木 雅 次君
”	吉 田 徳 次 郎君
”	平 山 復 二 郎君
元副会長	黒 当 武 定君
”	堀 越 清 六君
元関西支部長	高 西 敬 義君

満場一致で可決、5) 土木賞授与（詳細別記）、6) 新任役員の紹介（詳細別記）、7) 会長講演（詳細別記）、8) 記念講演 2 題（詳細別記）。

◎**第 1 回理事会**（昭.34.6.26）出席者：田中、米田新旧会長、本間、富樫、篠原新旧副会長、尾之内、藤村、田中、井口、八十島、比田、西嶋、小野、川勝の各理事。議事：1) 5 月中の各報告事項、2) 理事會務分担を次のとおり決定

総 務 部 部 長	川 村 満 雄	次 長	尾之内由紀夫
経 理 部 ”	藤 村 久 四 郎	”	田 中 行 男
編 集 部 ”	八 十 島 義 之 助	”	井 口 昌 平
調 査 部 ”	比 田 正	”	西 嶋 国 造
研 究 連 絡 部 ”	小 野 竹 之 助	”	川 勝 四 郎

3) 関係公共団体と連絡担当者について、a) 日本学術会議よりの委嘱によるものを確認、b) 関係学協会のうち、日本工学会は小野理事、その他は専務理事がこれに当る、c) 各学協会連合講演会は特に運営委員が委嘱してあるもの（第 3 回材料試験連合講演会）のほかは研究連絡部理事がこれに当る、4) 各委員会委員交代委嘱について、a) 会誌編集委員会：（新任）梅野康行、中村慶一、米沢 貢、足立 洪、難波隼象、浅井新一郎、堺毅、吉田方明、高橋浩二、北郷 繁（北海道）、田中 清（関西）、（退任）岡崎忠郎、伊東茂富、三上 澄、武部健一、南 俊次、粟津清蔵、尾形武男、尾崎 寿、尾崎晃（北海道）、小西一郎（関西）。b) 論文集編集委員会：第 1 部会（新任）大久保忠良、伊藤文人、君島博次、井上広胤、（退任）高田孝信、大地羊三、樋口芳朗、第 2 部会（新任）木村俊晃、芦田和男、光易 恒、藤皮哲二、（退任）佐藤清一、粟津清蔵、井島武士、松田暢夫、岡田篤也、第 3 部会（新任）最上武雄、高橋彦治、渡辺 隆、森 鱗、（退任）後藤正司、西亀達夫、三木五三郎、第 4 部会（新任）松原健太郎、佐藤 裕、齋藤暉太郎、三野栄三郎、鈴木信太郎、丸安隆和、藤井敏夫、（退任）友永和夫、黒河内浩、村山幸雄、藤原武、渡辺与四郎

c) 耐震工学委員会：（新任）篠原武司、横田周平、伊藤令二、（退任）秋草 勲、野瀬正儀、5) 各支部役員交代委嘱について、a) 北海道支部：支部長（新任）今 俊三、（退任）榎本万里、b) 関西支部：支部長（新任）江口 馨、（退任）石原藤次郎、6) 関西支部内規の一部（幹事 7 名を 15 名に）改正の件を承認、7) 日本学術会議第 5 期会員選挙に対する候補者推薦について検討、8) 「土木士法」制定に関する特別委員会を設置すること、9) 論文抄録第 6 集は 予算の増額を認め所期の計画どおりに進めること、10) 5 月中会員入退会を承認。

◎各種委員会

1. 第 1 回会誌編集委員会（昭.34.6.23）出席者：田原委員長、田村、米沢、樋口、都、堺、吉田、難波、中村、梅野、足立、奥村、寺島（代稲見）、後藤（東北）、小西（代畑中、関西）の各委員、南、尾形の両退任委員。議事：1) 投稿原稿審査報告および新規受付原稿審査委

員の決定、2) 依頼原稿の状況、3) 新委員会の委員担当月および担当欄について、4) 新年度の方針について、5) 会誌8号登載原稿を次のとおり予定した。

奥田教朝：交通施設建設計画の諸問題 一都市交通一、宮沢吉弘：東海道新幹線計画について、丸安・西尾：赤外線航空写真とその応用について、関・佐々木：中谷橋の応力計算について、小寺重郎：設計委託のあり方について、吉田良三：海外におけるコンサルタント活動について、松本嘉司：第3回プレストレス コンクリート国際会議の報告。

2. 第1回会誌編集小委員会(昭.34.6.1) 出席者：田原委員長、奥村、諫山、大西(代水野)の各委員。議事：1) 44巻7号会誌編集につき、最終的打合わせを行った、2) 6号絵写真の選定、3) その他。

3. 第1回文献調査委員会(昭.34.6.4) 出席者：樋口委員長、佐藤、福沢、片山、新谷、日野、津野、土屋、伊能、南雲、高野の各委員、矢島幹事、高秀、野口、丸山の各退任委員、八十島前委員長、山口前幹事。議事：1) 会誌7号登載抄録の選定および目録カードの提出、2) 新委員の担当部門の確認、3) 新委員の紹介、4) その他。

4. 第10回コンクリート常置委員会(昭.34.6.3) 出席者：谷藤、園分、伊東、土岐、塚山、山崎、浅井、西沢、藤井、岩崎、浜本、吉田、中村、柳田、岩間の各委員。議事：コンクリート舗装標準方書解説1条~86条について逐条審議した。

5. 第4回論文抄録委員会(昭.34.6.3) 出席者：左合委員長、久保(代中村)、村上、渡辺、浅川(兼幹事)、吉川、芦田、井口、多谷、伊東(代柳田)、野口、松本(代野沢)、明石、春日屋、千秋、原田、君島、松田、徳平(代今岡)、二階堂(代丸山)、加川、御巫、鶴田(代伊藤)、富永(代三井)、伊吹山(代小川)、竹下(代ノ瀬)、新谷、八木、田島、西脇、中村(正)、松原(代宮原)、高橋(代柴垣)、諫山(代佐藤)、松尾(代屋伸)、福井の各委員、島田、埴の各幹事。議事：1) 5月30日現在までに提出された論文課題数の報告

Aクラス(会誌, 論文集)	2 257	27%
Bクラス(大学, 研究所)	2 056	25%
Cクラス(その他, 一般)	4 056	48%
計	8 369	件

この外に委員会当日および未提出を追加すると約10000件が予想される、2) 10000件を基準とした印刷費を仮定すると、

A. 10000件のうち50%を抄録し、50%を課題だけとした場合、約650ページ 954000円

B. 10000件のうち30%を抄録し、70%を課題だけとした場合、約410ページ 741000円

3) 本年度予算との対象：予算は文部省補助100000円を見込んで800000円であるので事業遂行が困難となつ

た、委員の意向は予算の増額を求めて抄録集として完備したものを作りたいとの希望が多数となった、4) 予算の増額に対する理事会との接渉は委員長一任とした(議題8)、5) 題目カードの取扱い方法について詳細の打合わせを行った。

抄録幹事会(昭.34.6.30) 出席者：左合委員長、島田、埴、浅川の各幹事、学会側、朝倉、捧箸、鈴木。議事：第1回理事会で承認された予算増額にともない、編集方針その他の事項について協議した。

6. 水理委員会(昭.34.6.12 広島県庁グリル) 出席者：本間、吉川、嶋、米元、大坪、古谷、岩崎、藤本、石原、岩垣、田中(清)、永井、矢野、小川、久宝、藤芳の各委員、議事：1) IAHR Seminar について報告、2) 水理研究会講演会の課題について会員のアンケートを求めて3年くらい作っておく、3) 水理研究会の研究報告を作ること。

7. 第27回耐震工学委員会(昭.34.6.22) 出席者：沼田委員長、岡本、比田、小西(代畑中)、田原、寺島(代鶴見)、友永、畠山、村、最上、水越(代御牧)、篠原(代尾形)の各委員、久保幹事。議事：1. WCEE 準備状況報告(6.22 組織委員会)

A. 後援会の資金調達見込みは1775~1875万円(予算は1770万円)となつてやや確実となつた。B. 資金の用途は外人の滞在費および接待費、映画および展示会、Proceeding の作製等で、外人の旅費は別に外国(アメリカの財団)の寄付に依存するつもり、C. 映画および展示会については建築担当はすでに資料まとめて着手しているので、土木担当は至急実行委員を組織委員会に送つて協力しなくてはならない。実行委員の候補者として白石俊多氏(国鉄)、宮崎昭二氏(建設省)に交渉すること、D. Proceeding は100編を目標とし60編を講演し、40編を朗読する計画で、100編の内容は、日本40編(土木15、建築15、震研10)、外国60編(うちアメリカ30編)の予定、本日までの外国からの提出論文は出席予定者論文38編、出席未定論文6編となつている、2. 土木学会として提出論文受付は16編、追加3編(小坪、白石、本委員会)となるので、割当15編にしぼるには内容を検討して次回委員会で決定する、3. 災害および事故調査団派遣についての構想は前回の理事会の意向をも参酌して一まずこれを撤回し、本委員会の運営内規を設けることとした(比田委員起案のこと)、4. 第3回地震工学研究発表会(9月17,18日開催)にはWCEE提出の16編、別に申込みのあつた9編、計25編+α、1題20分、1グループの討議50分、特別講演2編で各40分講演として2日間土木学会で行うこと、5. 委員の交代および追加

土木研究所長 横田周平氏(新任)一秋草 勲氏と交代
電研開発KK 伊藤令二氏(新任)一野瀬正儀氏と交代

鉄道技術研究所長 篠原武司氏(新任)

6. 田原委員の「橋梁構造に関する耐震設計について」のお話があった。

◎講演会その他

- 1. 第4回水理研究会講演会(詳細記事8月号)日時: 昭. 34. 6. 12. 9~17.00時, 会場: 広島県庁講堂
2. 第14回年次学術講演会(詳細記事別記)日時: 第1日 6月13日 13.50時~17.20時, 第2日 6月14日 8.30時~17.00時, 会場: 広島大学教育学部教室
3. 会員懇親会(詳細記事別記) 日時: 6月13日 18.00時, 会場: 広島農協ビル
4. 見学会(詳細記事別記) 日程: 6月15日~16日, 場所: A班 出雲路コース, B班 防長路コース, C班 四国路コース, D班 広島市および近郊コース。

支部だより

- 1. 北海道支部(昭. 34.6.22) 34年度支部役員の改選
支部長 今 俊二(前...榎本万里)
幹事長 尾崎 晃
商議員 小林雄二郎 林 猛雄 宮下 善雄
小池 龍夫 高木 陽一 黒地 政美
古谷 浩三 中村 稔 坂 弘次郎
森田 義育 宮本 勇 森田 健造
七田 茂 森 勝平 上戸 斌司
土谷 実 小田島政次 梅木 一郎
五井 辰雄 尾崎 寿
地区常議員 千葉 寛 中村 稔 森田 義育
学会誌編集委員 北郷 繁
2. 中部支部(昭. 34.6.10) a) 役員異動
評議員(新任) 福永貞造 (退任) 梅木一郎
幹事(新任) 吉田四夫 (退任) 越田嘉一
(新任) 平山 章 (退任) 富田善明
(新任) 松久 勉 (退任) 三沢 浩
b) 行事報告(イ) 第2回幹事会 5月15日 出席者:

田所幹事長始め19名,(ロ)見学会 5月18日 吉田大橋(国道1号)並びに豊川放水路, 参加者 113名。

c) 支部所在地変更
(新) 名古屋市中区南外堀町6の1
愛知県土木部道路課内(電 ④ 0837)

3. 関西支部

- (1) 第1回幹事会(昭. 34.6.5大阪建設会館) 出席者: 江口支部長, 小西幹事長, 石田, 伊藤, 井部, 北村, 中川, 別所(代), 八木の各幹事。
(2) 第2回幹事会(昭. 34.6.22 大阪建設会館) 出席者: 江口支部長, 小西幹事長, 石田, 伊藤, 井部, 北村(代), 中川, 八木の各幹事および倉田宗章, 畑中元弘(代)の両商議員。
(3) 第1回商議員会(昭. 34.6.22 大阪建設会館) 出席者: 商議員 田中常(代), 中村, 福山, 室田, 渥美(代), 井部, 岩間, 上原哲(代), 大島, 加納, 野間口, 畑中(代), 倉田, 岩垣, 西田(代), 曾根(代), 常議員玉井, 支部長 江口, 幹事長 小西, 幹事 石田, 伊藤, 井部(兼), 北村(代), 中川, 八木。

(4) 商議員異動(昭. 34.6.22 付)

新任 羽島栄治 国鉄工事局停車場課長
退任 内田隆滋 国鉄建設局計画課へ転出

(5) 第1回見学会(昭. 34.6.27)

- 1) ピー エス コンクリートKK 伊丹工場
2) 日本道路公団名神高速道路(兵庫建設所管内)
① 猪名川橋工事(ベノットによる下部工法)
② 藻川橋工事(ウェル工法)
③ 試験盛土工事(サンドパイル工法, コンポーザー工法)

参加者: 197人(予定100人に対し) 観光バス4台を連ねてまことに盛況であった。

4. 西部支部(昭. 34.6.15) a) 第1回見学会(6.12) 福岡県日向神ダム工事現場, 参加者 206名, b) 夏期講習会実施予定 日時および場所 8月21日(金) 雲仙にて, 詳細は追って発表する。

会員入退会について(昭. 34.6.30 現在)

Table with 2 columns: Category (入会, 退会, 転格) and Count (167, 52, 35).

会員現在数(昭. 34.6.30 現在)

Table with 10 columns: Category (名誉員, 賛助員, 特1A, 特1B, 特1C, 特2級, 特3級, 正員, 学生員, 増減) and Count (24, 30, 17, 12, 71, 110, 94, 13366, 885, +115, 14609).

昭和34年7月10日印刷 昭和34年7月15日発行 土木学会誌 第44巻 第7号
印刷者 大沼正吉 印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂溜池5番地
編集者 八十島義之助 発行所 社団法人土木学会 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
定価 100円 振替 東京 16828 番 電話 (35) 5130・5138・5139 番

ABC

— 世界に誇る ProteX

空気連行杖

プロテックス

▲御一報次第説明書贈呈

★米国オートレン・ラブリカンツ会社極東総代理店

朝日物産株式会社

東京都中央区京橋3-5 TEL (56) 代 3151-8811
支店 札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

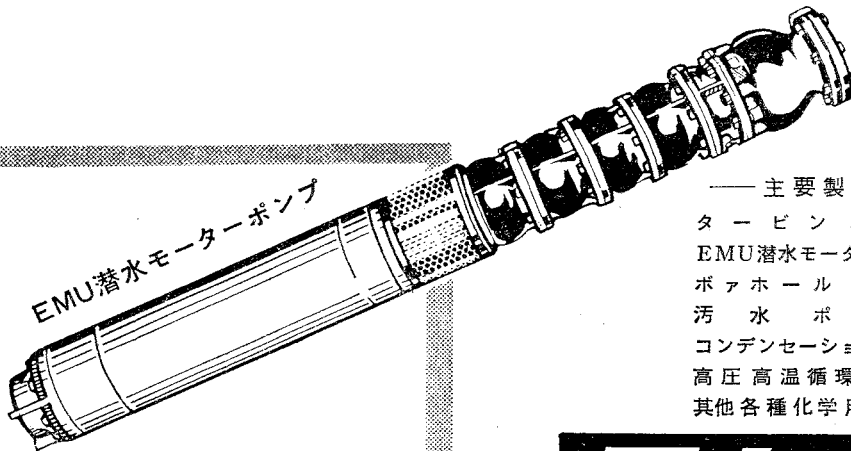
— AE 剤 (空気連行剤) —

ヴァインソール

御一報次第パンフレット進呈

山宗化学株式会社

東京都中央区八丁堀二丁目三番地
電話 築地 (55) 5292



— 主要製品 —

- タービンポンプ
- EMU潜水モーターポンプ
- ボアホールポンプ
- 汚水ポンプ
- コンデンセーションポンプ
- 高圧高温循環ポンプ
- 其他各種化学用ポンプ

高砂鉄工株式会社名古屋工場

名古屋市中央区玉船町4丁目 電話 (66) 代表 3191

本社 東京

タカサゴ
ポンプ。